

〔対外関係〕

前4000年紀 バルチスタン丘陵地帯に原始農耕文化（新石器文化）成立

前2300頃 **インダス文明**

メソポタミアと交易

系民族か？（インド先住民）

中心都市 { _____ (上流) _____ (下流)

《特色》大規模な王宮や神殿が存在しない

① _____ 器文明

② 高度に計画的な _____ 文明 (下水溝・街路・製粉場・大浴場など)

③ _____ 文字 (未解読) 象形文字

〔宗教〕

中央アジアより
アーリア人の侵入→

前1500 **アーリア人の西北インド侵入**

インダス川上流の _____ 地方に定着 (_____ 語族)

原始的な半農半牧の農村社会

部族国家を形成しラージャカ統率

自然神を崇拝 (自然を神格化)

『 _____ 』成立

最古のヴェーダ (宗教文献)

前1000 **ガンジス川流域へ進出**

制度成立 ① _____ (司祭)

農具の普及 ② _____ (武人)

商工業や都市が発達 ③ _____ (庶民)

政治的統合の進展 ④ _____ (奴隷)

教の成立 { 祭式万能主義 _____ 制度を肯定

2大英雄叙事詩原型成立 『 _____ 』

『 _____ 』

アケメネス朝ペルシア

西北インドを支配→

前6 c 有力国家の出現 { _____ 国 (中流域西北部) _____ 国 (中流域)

前5 c マガダ国シスナーカ朝のガンジス川流域統一

前4 c " ナンダ朝成立 (ギリシア軍の侵入)

① _____ 哲学成立★思想内容

新宗教の成立 { ② _____ の成立 (_____ 支持) _____ 開祖

★特徴 { ③ _____ 教 (ヴァイシャ支持) _____ 開祖

カイバル峠
大王
の西北インド侵入→

前4 c 末 **マウルヤ朝**

建国者 _____ 都 _____

全盛期 _____ 王 (阿育王)

初の統一王朝 { 全インドをほぼ統一←前261 のカリンガ征服

中央集権的な支配体制の確立

仏教の「ダルマ (法)」を統治理念に

交通や灌漑施設の整備

仏教の保護と布教

第3回 _____ 上座部仏教 (小乗) の教理が確立

_____ や磨崖碑の建設

_____ への布教 (王子マヒンダ)

寺院や仏塔の建設 サンチーのストゥーパ (仏塔)

前180 滅亡
分裂

中央アジアより
_____ 族の侵入→

1 c **クシャーナ朝**

建国 中央アジアより _____ 系クシャーナ族が侵入し建国

領域 西北インド～中央アジアを支配 都 _____

「絹の道」の東西交易を支配して繁栄

全盛期 _____ 王 ・ 仏教の保護 (第4回 _____)

仏教 { ① _____ の成立 教理の確立者 _____ { _____ }

★特徴 { 衆生の救済 _____ 信仰が始まる

北伝 (中国・朝鮮・ _____ へ)

② _____ 美術の成立 _____ 風の仏像彫刻

西『ローマの平和』
東 中国の後漢

ササン朝ペルシア支配→

前1 c **サータヴァーハナ朝**

(アンードラ朝)

_____ 高原中心に中・南インド支配

ドラヴィダ系アンードラ族の国

_____ との海上貿易で繁栄

バラモン教や仏教の保護

ナーガールジュナはこの地の人

『 _____ 』の原型成立

3 c

320 **グプタ朝**

建国者 _____ 都 _____

全盛期 _____ (趙日王)

領域 ガンジス川流域を中心に
北インド地域を統一支配

古典インド文化の完成

『 _____ 』 } 完成

『 _____ 』 } 完成

『 _____ 法典』

仏教の復興 { _____ 僧院の教理研究

純インド的 _____ 美術の仏像

_____ 石窟寺院

教の成立 民間信仰とバラモン教が融合

カースト制度を絶対視 主神 { _____ 神 (破壊)

エローラ石窟寺院 _____ ヴィシュヌ神

文学 文人 _____

『 _____ 』 『メーガドゥータ』

5 c 紀初め
中国より東晋僧
が渡印 『仏国記』

中央アジアより
遊牧民 _____ 侵入→

550

7 c **ヴァルダナ朝**

全盛期 _____ (戒日王) { 領域 北インド地域を統一支配

仏教保護 ナーランガ僧院での教理研究盛ん

7 c 前半
中国より唐僧
が渡印 『大唐西域記』

7 c 末
中国より唐僧
が渡印 『南海寄帰内法伝』

7 c 半ば以降
15 c まで **政治的分裂時代** { 社会 _____ 制度が社会全般に固定化

宗教 _____ 教は衰退し, _____ 教が栄える